

<観光講義を通して見た

[話題提供] ロシア & ロシア人>



1. **ロシア各地・講義風景**
2. **観光講義・内容**
3. **観光講義・参加者**
4. **観光講義中の・ロシア人の性格**
5. **ロシア・ホスピタリティ感覚**
6. **ロシア・ロシア人が見せたいもの**

鈴木 勝
大阪観光大学名誉教授
(元・桜美林大学教授)
NEANET 理事

資料) JNTO都市地図に、訪問都市を加筆

ロシア講義風景（サンクトペテルブルグ2006）



ロシア講義風景 (サンクトペテルブルグ2007)



2016年10-11月「極東ロシア」観光振興講義 (産官学・観光プロ+サハリン国立大学学生・・・単位付与形式)

**Seminar "Tourism from A to B - Japanese Experience
for Development of Sakhalin Tourism"
Oct.31 - Nov.01 at SakhGU**



10月30日(日) 羽田⇒札幌⇒ユジノサハリンスク

10月31日(月) サハリン (講座)

11月01日(火) 同上

11月02日(水) ユジノサハリンスク⇒ウラジオストク

11月03日(木) ウラジオストク (講座)

11月04日(金) 同上

11月05日(土) ウラジオストク⇒成田

ロシア講義風景



(ウラジオストク 2016.10.04)



(サンクトペテルブルグ 2013.10.21)



(ペドロパブロスク・カムチャツカ 2018. 4. 27)



(アルハンゲルスク 2017.6.28) 有志

ロシア講義風景



(ユジノサハリンスク 2016.10.31) 



(オレンブルグ・大学教員と昼食 2013.10.23)



(サラトフ COFFEE BREAK 2013.10.18)



(ウラジオストク 2018.4.24)

「はじめに」

1 世界的な観光活性化と観光の開発/振興の目的

- 1) 世界や日本の観光交流の活性化
- 2) 観光の及ぼす効果・影響
- 3) 観光形態

2 国際観光の開発/振興のためのインフラ整備と観光関係者の推進手法と課題

- 1) 「観光インフラの整備」
- 2) 「観光関係者の手法と課題」

3 「1年を通じて観光地となるための商品作り」

- 1) 商品が出来上がる仕組み
- 2) マーケティング戦略

[徹底研究ウラジオストク] [徹底研究ペトロパブロフスク・カムチャッキー]

4 日本マーケットへのアプローチ手法

5 「観光立国」となるために [事例研究] 観光立国・ニッポンに向かって—産官学の各側面における成功&失敗—

6]まとめ

4月22日（日）成田ーウラジオストク（S7便）

23日（月）観光講座 ウラジオストク（第1日）

24日（火）観光講座 ウラジオストク（第2日）

25日（水）午前 ウラジオストクーペトロパブロフスク（S7便またはオーロラ便）

午後 市内視察

26日（木）観光講座 カムチャツカ（第1日）

27日（金）観光講座 カムチャツカ（第2日）

28日（土）午前 ペトロパブロフスク・カムチャツキーー ウラジオストク（S7便）

午後 ウラジオストクー成田（S7便）

2017年6月ー7月 「ロシア」 観光振興講義

- 6/22 (木) 成田出発 → モスクワ到着
- 6/23 (金) SU215便 00:10モスクワ → 08:25ゴルノーアルタイスク市
(アルタイ共和国)
- 6/24 (土) 講座 (ゴルノーアルタイスク)
- 6/25 (日) SU216便 9:35 ギルノーアルタイスク市 → 10:15 モスクワ
- 6/26 (月) 講座 (モスクワ州内都市)
- 6/27 (火) 移動日 モスクワ → アルハンゲリスク
- 6/28 (水) 講座 (アルハンゲリスク)
- 6/29 (木) 移動日 アルハンゲリスク → モスクワ → ニジニー・ノヴゴロド
- 6/30 (金) 講座 (ニジニー・ノヴゴロド)
- 7/1 (土) ニジニー・ノヴゴロド → モスクワ、モスクワ出発
- 7/2 (日) 成田到着

ロシアのパンフレットはどこにある？



日本人が行きたい国ーロシアは何番目？

資料:JTB Report2016

2016
(n=720)

MT=832.9%

1	ハワイ Hawaii	62.9
2	オーストラリア Australia	41.5
3	イタリア Italy	41.0
4	フランス France	37.5
5	グアム Guam	33.6
5	イギリス U.K.	33.6
7	ドイツ Germany	28.2
8	スイス Switzerland	26.0
9	シンガポール Singapore	25.6
10	スペイン Spain	24.6

11	ニュージーランド New Zealand	24.3
12	カナダ Canada	23.5
13	アメリカ西海岸 The U.S. West Coast	22.6
14	台湾 Taiwan	21.1
15	韓国 Korea	19.9
16	オランダ The Netherlands	17.8
17	タヒチ Tahiti	17.6
18	サイパン Saipan	17.5
19	オーストリア Austria	17.2
20	ギリシャ Greece	16.9

「観光講義参加者」 ロシア人

「主要参加者」：70名の参加登録があり、産官学分野で適度な混じりあいと思われる。↓

〈行政〉市政府観光担当者↓

〈産業〉旅行会社・ホテル・レストラン・レジャー産業・インフォメーションセンター・港ターミナル・コンサルティング会社・マーケティング会社・イベント会社・ジャーナリスト・個人経営者・ボランティアなど↓

〈学術〉大学教授8名・大学&大学院生5名←

● 「観光講義」 ➡出席メンバーにびっくり。

警察官6名（サンクトペテルブルグ）、

牧師（ウラジオストク）、IT会社、美術館・博物館

ロシア & ロシア人(観光講義面)

● ロシア人は初対面の人には警戒心が比較的強い(?)

➡ 講義開始「1, 2時限目」: 質問攻め(講師の品定め?)

● 率直で裏表のない本音をぶつけ合う性格

➡ 講座での議論/ワークショップ/プレゼン

(例) 警察官 X ホテル・女性マネジャー)

(例) 老若・男女/一緒になって

● 「観光ホスピタリティ」

➡ 観光関係者の教育レベルは高い。しかし、実際は?

● ある受講者からの質問

「ところで、クリル(千島列島)のパッケージツアーは、いつできるのですか?」

● ロシア流ホスピタリティ “二歩進んで、一歩退がる”

➡ 出入国審査・CARD「ロシア語・英語の併記」

➡ 突然、「ロシア語のみ」

➡ (現在は) ロシア人出入国管理官が全部、書いてくれる?

ロシア&ロシア人（旅行意識）

●ロシア人は「泳ぎが大好き！」
⇒海外旅行先は、ビーチリゾートへ（現在も！）
トルコ、タイのプーケット/⇒国内・ボルガ河

資料) JNTO
訪日旅行データハンドブック

戦闘機と軍艦を眺めて…ロシア人観光客、クリミアのビーチで夏休み

2022年7月30日 10:00 発信地: セバストポル/ウクライナ [ウクライナ, ロシア, ロシア-CIS]



(3) 国際旅行収入と国際旅行支出（2012年～2021年）



<https://www.afpbb.com/articles/-/3416554> 2022年7月 AFP

ロシア&ロシア人(街角風景)

●ロシア史は外敵との 戦いの歴史

➡国内いたる所に
兵器・戦跡

公園でパチリと。2013.11.03 ➡



☞ (ユジノサハリンスク 2016.10.30)



ロシア&ロシア人（街づくり提案）

ウラジオストク市長からの依頼（2018）：

「要塞&戦跡（地下核シェルターetc.）を観光名所にしたいが？」

我々専門家チーム（M. K. TEAM：4名）提案

➡ [PEACEの街に！]

Proposal on the Tourism Development of Vladivostok based on Fortress Remains

■ The Symbol of Peace

● City of Vladivostok

Military Port City ➡ “City of Peace”

● The Fortresses

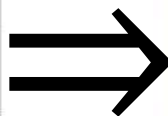
Military Facilities ➡ “Peaceful Use”



終りに（侵攻前⇒現在）

8項目の日ロ経済協力プラン

1	 医療	疾病予防などでの政府間協力 日ロ企業間の出資・技術提携
2	 都市環境	ロシアの都市環境整備 東シベリアでの廃棄物処理支援
3	 中小企業	ロシアへの中小企業進出支援
4	 エネルギー	サハリン沖での日ロの資源探査・開発 サハリン沖の天然ガス・石油生産増強
5	 生産性向上	国際協力銀行などによるロシア企業向け融資 日本の工作機械メーカーによる長期投資合意
6	 極東開発	日ロ合併による温室野菜栽培事業 リハビリテーション病院の建設
7	 先端技術	郵便システムの効率化支援 携帯電話・情報通信技術協力
8	 人的交流	日ロの大学間協力 日ロ両政府がそれぞれ査証(ビザ)発給要件を緩和



ロシアへの経済協力の主な事業

省庁	事業内容	2022年度予算	対応
外務省	ロシアの各地域で政治、経済、文化、科学など幅広い分野で日本紹介イベントを開催	1億1000万円	これまで通りには進めない
国交省	ロシアの都市の課題調査、日本企業貢献の可能性をさぐる	5000万円	当面見合わせる
厚労省	予防医療分野などで医師らの交流	6億5000万円	進める状況にない
文科省	福島第一原発の廃炉に関するロシアとの共同研究	4000万円	予算は国内の研究機関への資金で、見合わせない方針
	スポーツ交流のため地域レベルの選手団派遣と受け入れ	1000万円	執行しない
総務省	日本とロシアの自治体間で相互訪問やイベント開催	3000万円	当面は執行が難しい。今後が見通せず年度にわたりやめる判断はできない

https://www.jiji.com/jc/graphics?p=ve_pol_seisaku-gaikou20161216j-08-w400

2016年12月 時事



<https://www.tokyo-np.co.jp/article/167162>

東京新聞 2022年3月